様式第２号の１－②【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の１－①を用いること。

学校名	神戸医療福祉専門学校三田校
設置者名	学校法人神戸滋慶学園

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数	省令で定める基準単位数	配置困難
医療専門課程	理学療法士科	夜・通信	30 単位	13 単位	
	作業療法士科	夜・通信	31 単位	13 単位	
	言語聴覚士科	夜・通信	30 単位	13 単位	
	救急救命士科	夜・通信	13 単位	7 単位	
	義肢装具士科 4年制	夜・通信	29 単位	13 単位	
（備考）					

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

URL:http://www.kmw.ac.jp/gakko/joho/

３．要件を満たすことが困難である学科

学科名
（困難である理由）

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	神戸医療福祉専門学校三田校
設置者名	学校法人　神戸滋慶学園

１．理事（役員）名簿の公表方法

ホームページにて公表 https://www.kobe-jikei.ac.jp/

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	㈱日本販売企画 代表取締役	2023/3/25 ～ 2027/3/24	適切な情報収集
非常勤	一般財団法人職業教育・キャリア教育財団　理事	2025/5/30 ～ 2028/5/29	組織運営体制へのチェック機能
（備考）			

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	神戸医療福祉専門学校三田校
設置者名	学校法人神戸滋慶学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。

（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要）

授業計画書の作成過程：指定科目については指定規則に則って授業計画書を作成。その他の科目については、教育課程編成委員会等で業界の方からの意見を参考に授業計画書を作成している。

授業計画書の作成・公表時期：2026 年 6 月 30 日

授業計画書の公表方法	https://www.kmw.ac.jp/gakko/joho/

２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要）

学則において学内の成績評価、履修、卒業要件について規定している。
各学科で定める授業科目の試験により成績評価を行っている。

（参考）学則
第 16 条　試験は各学期ごと又は科目終了時に行い、試験の成績評価は科目ごとに 100 点満点とし、60 点以上を合格点とする。

第 17 条　所定の授業日数の 3 分の 1 以上欠席した者は、進級又は卒業することができない。但し、各学年において欠席日数が出席すべき日数の 3 分の 1 未満であっても、各科目及び実習にかかる出席時間数が所定の 3 分の 2 に満たない者は、補講を受けなければ進級又は卒業することができない。

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要）

客観的な指標の設定：ＧＰＡによる。
試験の成績評価は科目ごとに 100 点満点とし、60 点以上を合格点とする。
※試験の成績評価は試験の点数の合計（100 点満点）が 90 点～100 点が「A」、80 点～89 点が「B」、70 点～79 点が「C」、60 点～69 点が「D」、59 点以下「F」と評価する。「D」以上を合格点とする。

各成績は、A（4.0）、B（3.0）、C（2.0）、D（1.0）としてＧＰＡはAの単位数×4.0＋Bの単位数×3.0＋Cの単位数×2.0＋Dの単位数×1.0 の合計を、各学生が履修済の総単位数で除した数を求めることによって算出する。

客観的な指標の算出方法の公表方法	https://www.kmw.ac.jp/gakko/joho/

４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要）

第 17 条　所定の授業日数の 3 分の 1 以上欠席した者は、進級又は卒業することができない。但し、各学年において欠席日数が出席すべき日数の 3 分の 1 未満であっても、各科目及び実習にかかる出席時間数が所定の 3 分の 2 に満たない者は、補講を受けなければ進級又は卒業することができない。

卒業の認定に関する方針の公表方法	https://www.kmw.ac.jp/gakko/joho/

様式第２号の４－②【⑷財務・経営情報の公表（専門学校)】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の４－①を用いること。

学校名	神戸医療福祉専門学校三田校
設置者名	学校法人神戸滋慶学園

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.kmw.ac.jp/gakko/joho/
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

２．教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
医療	医療専門	理学療法士科	―	○

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼間	149単位	79単位	37単位	33単位	単位	単位

学生総定員数	学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
160人	148人	0人	6人	41人	47人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 3日以上欠席が続いた場合は、担任が保護者に連絡し、理由を把握すると共に、必要であればカウンセラーにつなぎ、原因を把握した上で、適切な対応をしている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
31 人 （100%）	0 人 （ 0 %）	31 人 （ 100 %）	0 人 （ 0 %）
（主な就職、業界等） 病院・リハビリテーションセンター・福祉施設等			
（就職指導内容） 就職セミナーの開催・就職対策講座・模擬面接、企業説明会の開催			
（主な学修成果（資格・検定等）） 理学療法士			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
145 人	10 人	6.9%
（中途退学の主な理由） 経済的な理由、進路変更ほか		
（中退防止・中退者支援のための取組） クラス担任制で、定期・不定期の個人面談を行っている。また、学生ひとり一人の状況変化に対し、担任だけでなく、チームで対応している。又、心のケアについては学生相談室を設置し、個人面談を行っている。経済的な理由により学業の継続が困難な学生に対しては、専門の教職員が個別に面談し、日本学生支援機構奨学金等適切な情報提供を行っている。進路変更委員会を設置しており、学生が進路変更を希望した場合、ひとり一人の学生にとって最適な進路変更を提案するようにしている。		

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
医療		医療専門	作業療法士科		―		○	
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
4 年	昼間	140 単位	86 単位	15 単位	39 単位	単位	単位	

学生総定員数	学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
160 人	69 人	0 人	6 人	24 人	30 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第２号３【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第２号３【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第２号３【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4.を参照
学修支援等
（概要） 3 日以上欠席が続いた場合は、担任が保護者に連絡し、理由を把握すると共に、必要であればカウンセラーにつなぎ、原因を把握した上で、適切な対応をしている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
12 人 （100%）	0 人 （ 0 %）	11 人 （ 92 %）	1 人 （ 8 %）
（主な就職、業界等） 病院・リハビリテーションセンター・福祉施設等			
（就職指導内容） 就職セミナーの開催・就職対策講座・模擬面接、企業説明会の開催			
（主な学修成果（資格・検定等）） 作業療法士			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
69 人	10 人	14.5%
（中途退学の主な理由） 経済的な理由、進路変更ほか		

（中退防止・中退者支援のための取組）
クラス担任制で、定期・不定期の個人面談を行っている。また、学生ひとり一人の状況変化に対し、担任だけでなく、チームで対応している。又、心のケアについては学生相談室を設置し、個人面談を行っている。経済的な理由により学業の継続が困難な学生に対しては、専門の教職員が個別に面談し、日本学生支援機構奨学金等適切な情報提供を行っている。進路変更委員会を設置しており、学生が進路変更を希望した場合、ひとり一人の学生にとって最適な進路変更を提案するようにしている。

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
医療	医療専門	言語聴覚士科	―	○

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼間	125単位	93単位	12単位	20単位	単位	単位

学生総定員数	学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
160人	80人	0人	6人	20人	26人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）
様式第2号3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照

成績評価の基準・方法

（概要）
様式第2号3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照

卒業・進級の認定基準

（概要）
様式第2号3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照

学修支援等

（概要）
3日以上欠席が続いた場合は、担任が保護者に連絡し、理由を把握すると共に、必要であればカウンセラーにつなぎ、原因を把握した上で、適切な対応をしている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
20人 (100%)	0人 (0 %)	15人 (75 %)	5人 (25 %)

（主な就職、業界等） 病院・リハビリテーションセンター
（就職指導内容） 就職セミナーの開催・就職対策講座・模擬面接、企業説明会の開催
（主な学修成果（資格・検定等）） 言語聴覚士
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
81 人	6 人	7.4%
（中途退学の主な理由） 経済的な理由、進路変更ほか		
（中退防止・中退者支援のための取組） クラス担任制で、定期・不定期の個人面談を行っている。また、学生ひとり一人の状況変化に対し、担任だけでなく、チームで対応している。又、心のケアについては学生相談室を設置し、個人面談を行っている。経済的な理由により学業の継続が困難な学生に対しては、専門の教職員が個別に面談し、日本学生支援機構奨学金等適切な情報提供を行っている。進路変更委員会を設置しており、学生が進路変更を希望した場合、ひとり一人の学生にとって最適な進路変更を提案するようにしている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士
医療		医療専門	救急救命士科	○	－
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位数	開設している授業の種類		
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	88 単位	53 単位	9 単位	26 単位	単位	単位

学生総定員数	学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
100 人	96 人	0 人	4 人	25 人	29 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第 2 号 3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第 2 号 3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照

卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第２号３【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4.を参照
学修支援等
（概要） 3 日以上欠席が続いた場合は、担任が保護者に連絡し、理由を把握すると共に、必要であればカウンセラーにつなぎ、原因を把握した上で、適切な対応をしている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
36 人 （100%）	0 人 （ 0 %）	34 人 （ 94 %）	2 人 （ 6 %）
（主な就職、業界等） 消防署、病院、海上保安庁等			
（就職指導内容） 就職セミナーの開催・就職対策講座・模擬面接、企業説明会の開催			
（主な学修成果（資格・検定等）） 救急救命士			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
85 人	8 人	9.4%
（中途退学の主な理由） 経済的な理由、進路変更ほか		
（中退防止・中退者支援のための取組） クラス担任制で、定期・不定期の個人面談を行っている。また、学生ひとり一人の状況変化に対し、担任だけでなく、チームで対応している。又、心のケアについては学生相談室を設置し、個人面談を行っている。経済的な理由により学業の継続が困難な学生に対しては、専門の教職員が個別に面談し、日本学生支援機構奨学金等適切な情報提供を行っている。進路変更委員会を設置しており、学生が進路変更を希望した場合、ひとり一人の学生にとって最適な進路変更を提案するようにしている。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
医療	医療専門	義肢装具士科 4 年制	―	○

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4 年	昼間	143 単位	81 単位	24 単位	38 単位	単位	単位

学生総定員数	学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
120 人	95 人	0 人	8 人	22 人	30 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）
様式第 2 号 3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照

成績評価の基準・方法

（概要）
様式第 2 号 3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照

卒業・進級の認定基準

（概要）
様式第 2 号 3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4. を参照

学修支援等

（概要）
3 日以上欠席が続いた場合は、担任が保護者に連絡し、理由を把握すると共に、必要であればカウンセラーにつなぎ、原因を把握した上で、適切な対応をしている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
13 人（100%）	0 人（ 0 %）	12 人（ 92 %）	1 人（ 8 %）

（主な就職、業界等）
義肢装具製作施設、病院等

（就職指導内容）
就職セミナーの開催・就職対策講座・模擬面接、企業説明会の開催

（主な学修成果（資格・検定等））
義肢装具士

（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
94 人	19 人	20%
（中途退学の主な理由） 経済的な理由、進路変更ほか		
（中退防止・中退者支援のための取組） クラス担任制で、定期・不定期の個人面談を行っている。また、学生ひとり一人の状況変化に対し、担任だけでなく、チームで対応している。又、心のケアについては学生相談室を設置し、個人面談を行っている。経済的な理由により学業の継続が困難な学生に対しては、専門の教職員が個別に面談し、日本学生支援機構奨学金等適切な情報提供を行っている。進路変更委員会を設置しており、学生が進路変更を希望した場合、ひとり一人の学生にとって最適な進路変更を提案するようにしている。		

②学校単位の情報

ａ）「学生納付金」等

学科名	入学金	授業料 （年間）	その他	備考（任意記載事項）
理学療法士科	300,000 円	1,000,000 円	400,000 円	
作業療法士科	300,000 円	1,000,000 円	400,000 円	
言語聴覚士科	300,000 円	900,000 円	200,000 円	
救急救命士科	100,000 円	900,000 円	100,000 円	
義肢装具士科 4 年制	300,000 円	1,000,000 円	400,000 円	
修学支援（任意記載事項）				
神戸滋慶学園特別奨学金、学びなおし支援奨学金				

ｂ）学校評価

自己点検評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） 本校ホームページの情報公開バナーから公表する URL:http://www.kmw.ac.jp		
第三者評価の基本方針（実施方法・体制）		
卒業生、保護者代表、近隣関係者、高校関係者、業界関係者により構成される学校関係者評価委員会を組織し、この委員会が、学校教職員が行った自己点検・自己評価の内容を審議・評価することを通し、学校運営の改善に生かすことを方針としています。		
第三者評価の委員		
所属	任期	種別
平島病院	2 年	卒業生
	2 年	保護者代表

学校法人　松陰女子学院	2年	高等学校関係者
特定非営利活動法人言語障害者の社会参加を支援する会しゃべろーよ地域活動支援センター　トークゆうゆう	2年	企業等委員
株式会社ヌーベルバーグ　介護ショップ蓮	2年	企業等委員
公益社団法人　日本義肢装具士協会	2年	企業等委員
第三者評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） URL:http://www.kmw.ac.jp/gakko/joho/		
（備考）第三者による学校評価		
団体名：一般社団法人　リハビリテーション教育評価機構 受審年月：令和3年4月1日		

c）当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） 本校ホームページの情報公開バナーから公表する URL:http://www.kmw.ac.jp/gakko/joho/